

<一般委託>

猪熊弦一郎展 会場施工業務委託(一般委託)仕様書

猪熊弦一郎展 会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	横須賀美術館で開催する猪熊弦一郎展(会期=2022年9月17日~11月6日)の作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置する。展覧会終了後の撤去業務を含む。
2	履行期間	契約日から令和4年11月11日(金)
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。作業で発生した残材等の不用品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。作業時間は原則として各日とも9:30~17:30とするが、休館日に行なう業務が含まれる(別紙仕様書を参照)。設置・設営位置などの詳細は担当者で打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	平成29年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を元請けとして締結し、完了した実績があること。この実績を証明するため、当該契約書及び仕様書の写し(当該履行内容を記載した箇所)、並びに会場面積を確認できる図面等の資料を入札参加申請書提出期間内にファックスで送信すること(FAX046-828-3839)。送信しない場合は、入札に参加できない。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 日野原 TEL046-845-1212/Fax046-845-1216

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
----------------------------------	---

- 1 件名 猪熊弦一郎展 会場施工業務委託  
 2 場所 横須賀美術館  
 3 会期 令和4年9月17日(土)～11月6日(日)  
 4 作業日程 施工(業務1、2) 令和4年9月5日(月)休館日  
 施工(業務3) 令和4年9月10日～9月12日(作業日)、9月13日(予備日)  
 納品(業務4～9) 令和4年9月13日まで  
 撤去(業務10) 令和4年11月7日(月)休館日  
 撤去・廃棄(業務11) 令和4年11月11日  
 施工・補修(業務12、13) 令和4年11月9日～11月11日  
 5 業務内容 各仕様は次の通りとする。(寸法はミリ単位で表記)

数量

(1) 屋内看板

1枚

寸法	t10mm、貼付範囲H1000×W2500(展覧会名、会期情報など30文字程度)の切り文字
仕様	受付カウンター背面の既存壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。文字は、【開館15周年 生誕120年猪熊弦一郎展 9月17日(土)～11月6日(日)】。色は指定色あり。設置から令和4年9月17日10時までは「予告」の表示をするため、表示物を作成すること(大きさはA3程度)。
設営場所	エントランスホール 受付カウンター後ろ

(2) 入口バナー(仕様2別紙1参照)

1枚

寸法	H450×W2400
仕様	展覧会名と入口を指示するバナーを制作し、美術館正面入口外の底部分に掲示する。原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための既存の角パイプ(20×20)を通せるようにする。ロープ、結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。
設営場所	美術館正面入口外の底部分

(3) 仮設壁の撤去と設営(会期前)

1式

寸法	撤去(図面青の壁)、設営(図面赤の壁): H3500×W9500×D500(鉄骨)、H3500×W1400×D500(鉄骨)
仕様	前展覧会の終了後に仮設壁(図面青の壁)を撤去する。かさ上げ分(H500分の木骨骨組み)は美術館備品の鉄骨、パネルを使用していないため、撤去後は廃棄する。請負側で廃棄費用を見込むこと。壁の撤去後、本展覧会の仮設壁(図面赤の壁)を設営する。美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネル(H3000×W900)を利用すること。かさ上げ分は当館備品の木製パネル(H3000)にH500分の木骨骨組を継いで作成すること。また、既存の壁との接合部については、備品の木製パネルが適合しない場合があるので、必要となる部材を請負側で調達すること。また、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないよう、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日塗工N-95[日本ペイント・エコフラット・ツヤ消し])とすること。美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの解体方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。
設営場所	展示室2(仕様2別紙2を参照)

(4) あいさつパネル(大)

1枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (5) 章解説パネル 7枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(4色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (6) 解説パネル(中)の製作 20枚

寸法	H515×W360
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (7) キャプション 110枚

寸法	H100×W150
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色)。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (8) 年表パネル 1枚

寸法	H900×W2400
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(4色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (9) 肖像パネル 1枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

- (10) 看板類の撤去 1式

内容	業務1、2で設置した屋内看板、入口バナーを撤去する
仕様	撤去後の壁面は、接着剤汚れ、ピン穴などが見られないように補修すること。

- (11) 物品、製作物の撤去、廃棄 1式

内容	業務4～9で製作した製作物を持ち帰り廃棄する。
----	-------------------------

- (12) 仮設壁の撤去と設営(会期終了後) 1式

寸法	撤去(図面赤の壁)、設営(図面青の壁):H3500×W8500×D500(鉄骨+木骨)*既存壁と組み合わせL字壁とする。H3500×W5300×D500(鉄骨)、H3500×W3000×D500(木骨)
仕様	本展覧会の終了後に仮設壁(図面赤の壁)を撤去する。かさ上げ分(H500分の木骨骨組み)は美術館備品の鉄骨、パネルを使用していないため、撤去後は廃棄する。請負側で廃棄費用を見込むこと。壁の撤去後、次展覧会の仮設壁(図面青の壁)を設営する。鉄骨の仮設壁は美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネル(H3000×W900)を用いること。木骨の仮設壁はt10mm以上のベニヤを用い、作品の展示に耐えるよう安定して自立するものであること。壁の安定のためにバラスト(錘)を使用してもよいが、当該仮設壁は会期終了後も継続使用するため、バラストは返却しない。バラストとして砂袋を用いる場合は、じゅうぶん乾燥しており、砂漏れがないことを条件とする。必要な材料は請負側で用意すること。かさ上げ分は当館備品の木製パネル(H3000)にH500分の木骨骨組を継いで作成すること。また、既存の壁との接合部については、備品の木製パネルが適合しない場合があるので、必要となる部材を請負側で調達すること。また、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないよう、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日塗工N-95[日本ペイント・エコフラット・ツヤ消し])とすること。美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの解体方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。
設営場所	展示室2(仕様2別紙3を参照)

## (13) 壁の補修

1式

内容	作品、パネル等を撤去した後の、穴、汚れなどが目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約500箇所。補修する箇所は、基本的にクギ穴等が生じた部分であるが、展示期間中に発生した汚れ等も含む。使用する塗装は白色(日塗工N-95[日本ペイント・エコフラット・ツヤ消し])とする。
場所	エントランス、展示室1、2、3

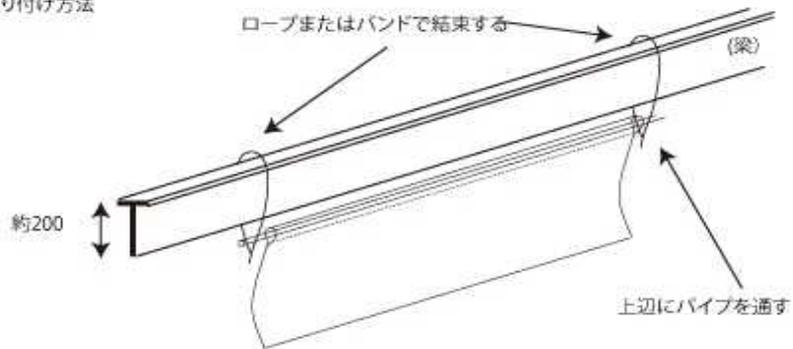
## (14) 現場作業

<p>①造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後製作すること。</p> <p>②展示工作業監督者(責任者)を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。</p> <p>③作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。</p> <p>④作業に必要な機械、工具および資材は全て持参し、搬入すること。</p> <p>⑤作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。</p> <p>⑥検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。</p> <p>⑦作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。撤去時は指示に従い、前回展覧会で設営し、残した壁面も撤去すること。</p> <p>⑧作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。</p> <p>⑨使用する塗料は白色(日塗工N-95[日本ペイント・エコフラット・ツヤ消し])。</p> <p>⑩接着剤は環境対応型のものを使用すること。</p> <p>⑪現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。</p> <p>⑫その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。</p>
---

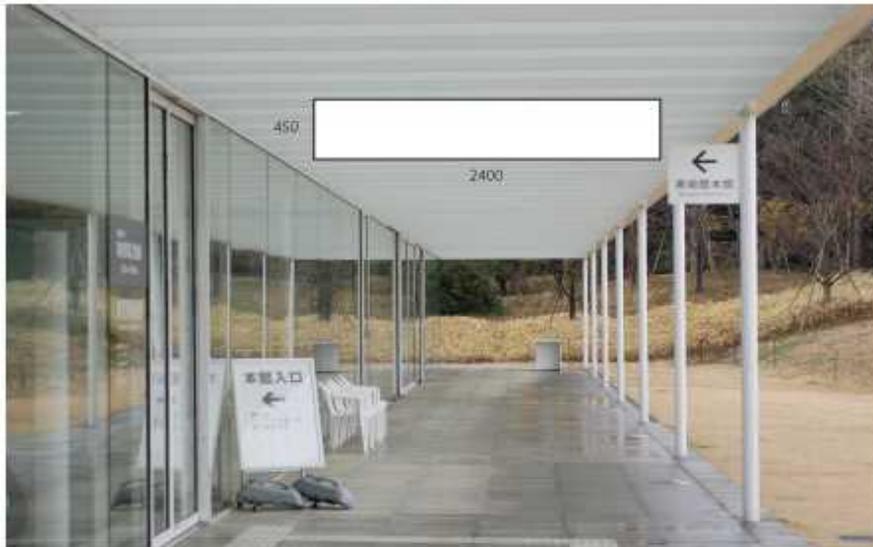
## 仕様2 別紙1

- ・パナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- ・上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- ・結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

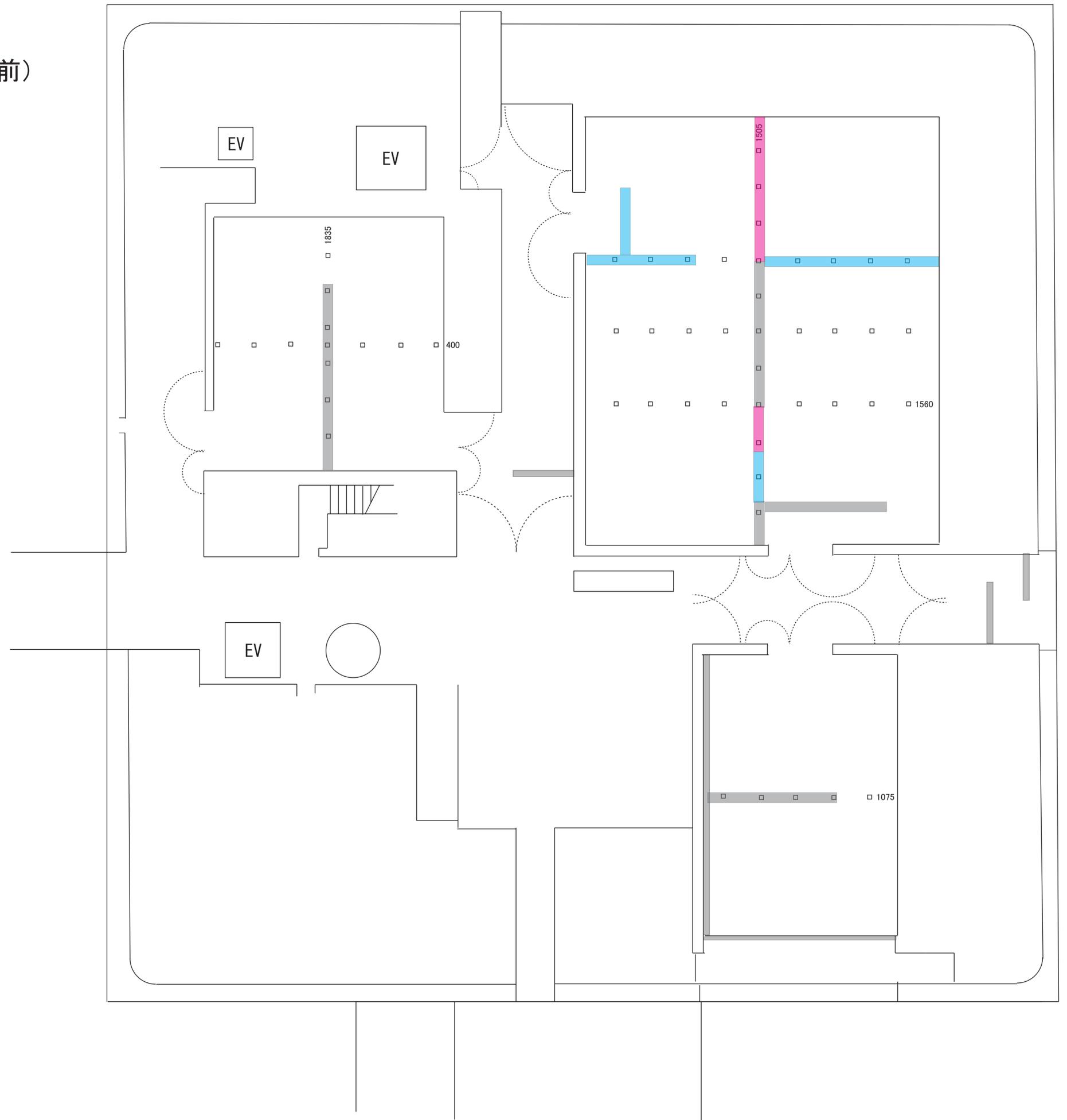
取り付け方法



取り付けイメージ



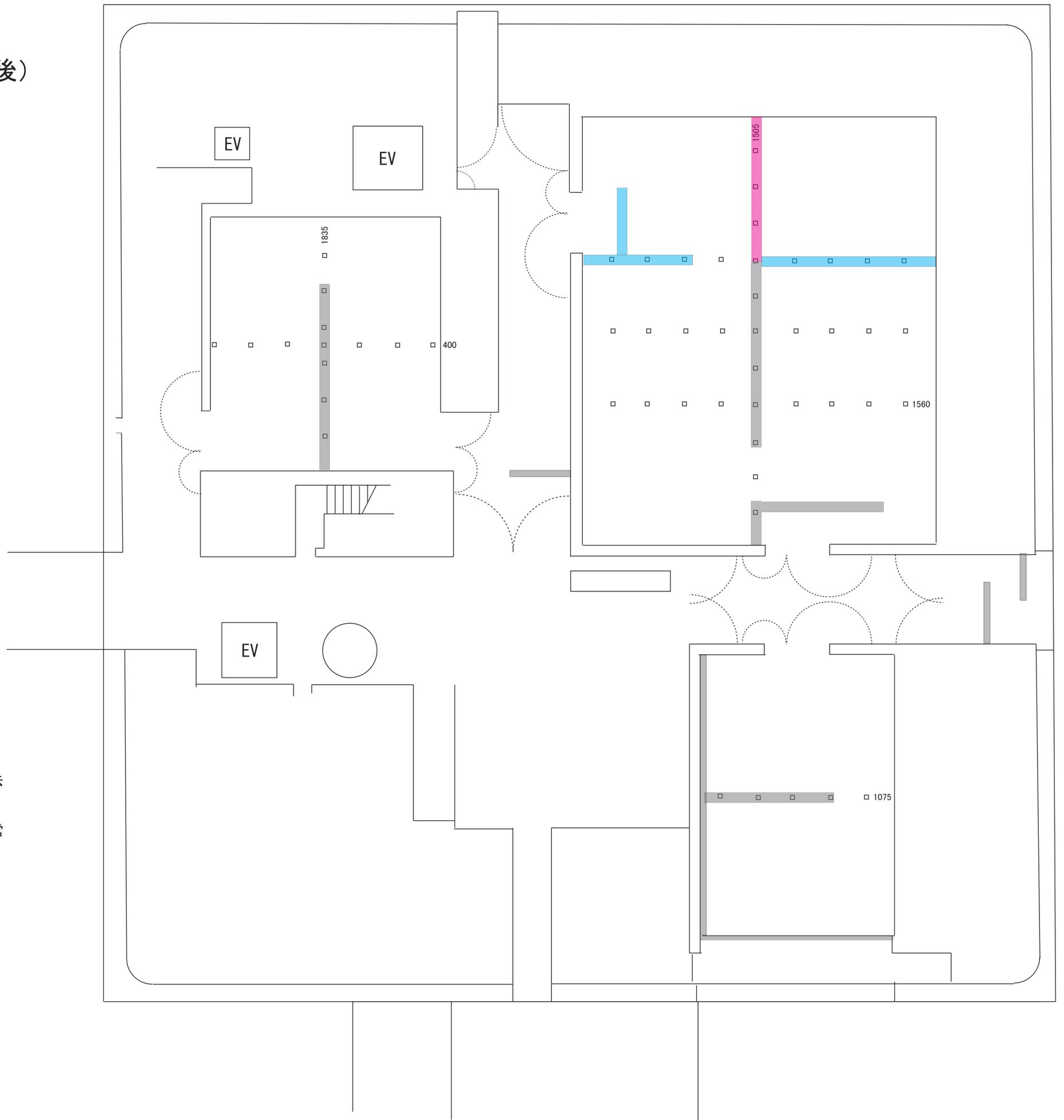
仕様2 別紙2  
「猪熊弦一郎展」会場施工図面(会期前)



- 仕様3・既存壁撤去
- 仕様3・仮設壁設営
- 既存壁

0 1000mm

仕様2 別紙3  
 「猪熊弦一郎展」会場施工図面(会期後)



- 仕様12・会期終了後撤去
- 仕様12・会期終了後設営
- 既存壁

0 1000mm